

その24



<歳相応の対応>

歳相応とは、「年齢に似つかわしいさま」の事です。

まさか! まだ、特性を理由に、決めつけた対応はしていませんよね? 「これは出来ない・苦手」「まだ難しい」「こだわりがあるから……」は大人の決めつけで、大人の言い訳です! …よ!

確かに、それぞれが持っている特性により、成長をするに当たり様々な難しさはあります。ただ! やつぱり学校と家、(様々な) デイや習い事などから確実に、知識とスキルの積み重ねは蓄積されています。

その力を、発揮させないと次の段階に進めません! どう発揮させていくか……。まずは、歳相応の対応をすることですよね。一番は「呼び名」と「呼び方」です。「○○ちゃん」はアウトですよ! 状況にもよりますが、基本的な日常生活での呼び方の事です。

心は未熟だったり、行動も個性たつぷりだつたとしても、身体が大きかつたりすれば、世間は見た目で見え、対応してきます。

中高生は、親(大人)の監視下の元での行動が必要なので「子ども」という表現をしますが、考え方や情報収集の仕方は、すっかり「大人」です。 行動だけで判断ではなく、「意識プラス行動」で判断してあげてください!意識力が見えにくい場合は、「一人でやらせる」ことです。 思考力の確認にもなります。

今の年齢を、一般的に考えて接してあげてください。

そこから、今現在の状態把握をし、今後に必要な成長ポイントを見ていきましょう☆

その9

今月の活動ポイント!



<報連相を使った行動>

「報連相」を使った行動に関して、今までも行ってきましたが、更に重視をスタートしました!

とにかく「言い慣れる事」もしくは、「形(ルーティン)として行動と言葉をマッチングさせて覚えていく」ことです。これが認識出来るようになると、「応用」もしくは「柔軟な使い方」に自然になっていきます。

「○○さん」 → 誰に伝えるかはつきりさせる。

目的: 人の名前や顔を覚える。

「○○を」 → 伝えたいことを具体的に伝える。

目的: 物事の名前や表現を考える。

「○○ください」 → 何をして欲しいのか伝える。

目的: 自分の行動と意思の把握。

単語で話すことは、基本 NG にしています。 考えて言葉を発するという事を重要視しています。

<苦手とする言葉の種類>

- お願ひします
- (物)をください。
- 貸してください。

<相談>

(*活動中は当然のことです!)

- 「～をしてもいいですか?」

<報告>

- 「～出来ました」「～行ってきました」

「お願ひします」は、様々な状況での使い方があり、なかなか難しい言葉のようです。